

東日本大震災への支援活動について(第3報)

東日本大震災の被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

エバラ食品工業株式会社(社長:藤川雍中 本社:横浜市)は、東日本大震災の被災地支援のため、調理設備を備えた大型キャラバンカーを被災地に派遣し、現地の災害対策本部やボランティアセンターから要請を受けた避難施設を巡り、ちゃんこ鍋の炊き出しを行っております。

3月22日から4月8日までの間では、宮城県気仙沼市、石巻市、東松島市、女川町、岩手県の宮古市などの避難施設 31カ所を巡り、延べ35回、約23,000食の炊き出しを行いました。

このたびの震災では被災エリアが広範囲にわたり、今なおライフラインの復旧が遅れている地域があることや、度重なる余震の影響により避難施設へ避難される方が増えていること、現地ではいまだ冷え込みが厳しく、温かい食べ物やバランスのとれた食事が求められていることなどから、各自治体より炊き出しのご要望が数多く寄せられているため、大型キャラバンカーの派遣台数を増やし、引き続き、炊き出しを行うことといたしました。

現在も七ヶ浜町、女川町、東松島市、登米市の避難施設を巡り、実施いたしております。

また、従業員から「食を通じた支援活動の役に立ちたい。」という声が多く寄せられ、従業員有志による社内募金活動がおこなわれております。

従業員からの募金は、炊き出しの食材購入の一部に充当し、従業員の思いとともに炊き出しを実施してまいります。

エバラ食品工業株式会社は、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げますとともに、全社一丸となって、引き続き、被災地の支援を行ってまいります。



調理設備を備えた大型キャラバンカー



大鍋でちゃんこ鍋をご提供しています



温かい鍋は大変喜んでいただきました



キャラバンカーによる炊き出し



朝・昼・夕と場所を変えて実施しています



中型キャラバンカーによる炊き出し